

株式会社スタートトゥデイ （卸売業、小売業）

《徹底的な効率性の追求で6時間労働を実現、すべての社員の充実感を会社発展の原動力に転換》

◆ダイバーシティ経営の背景

- ・人材の属性やキャリアにかかわらず、自分がやりたいことを行って「楽しく働く」ことでスタッフ自身が活躍の場を広げる風土がある。また仕事とプライベートを両立し、スタッフの人生を充実させることで、企業の活性化を図ることを狙った6時間労働制を導入している。

◆取組内容

- ・2012年5月より、一日の労働時間を9時～15時の6時間に変更。朝9時から昼休みなしで一気に働くことで、集中して仕事に取り組める環境を整備した。15時終業となるため、子どものいるスタッフは時短勤務制を利用しなくとも、定時で退社すれば保育所に子どもを迎えに行くことができる。
- ・その背景には、顧客対応やシステム構築、通販ビジネスに関わる大半の業務を自社でまかなう“自前主義”で、トラブル時にも自社内の部署間での調整等だけで対応が可能になっていることもある。
- ・物流部門やカスタマーサポート部門など15時で終了ができない場合は、2部制を設けて就業時間をずらすことなどで、業務時間を十分に確保している。また、通常1時間だった社内会議を45分に短縮したり、社内会議の資料を簡素化するなどの工夫を凝らし、生産性向上に取り組んでいる。
- ・「生活を豊かにすることでうまれる、人間としての自然な喜びを大切にしたい」という代表の考えで、“ろくじろう”というキャラクターを作り、そのコンセプトを社会全体に広く発信している。
- ・障がいを持つスタッフも多く採用している。聴覚障がいのスタッフがいる部門では他の社員が自主的に手話を身につけたり、人事部門は採用時にコミュニケーションをとれるように朝礼を手話で行ったりしている。他にもSE、デザイン、物流など多様な部門で障がいを持つスタッフが働いており、お互いにコミュニケーションを丁寧に行うなど心掛けている。

◆成果

- ・WLBと生産性向上・創造性拡大を狙った6時間制の導入により、労働時間25%減となったことで、取扱高は変わらないまま生産性（取扱高／従業員の総労働時間）は前年比25%プラスとなった。また、就業後に店舗を回りトレンドを把握するなど、生じたゆとりがマーケティング業務に活かされる好事例も出てきている。更に、社員の属性やスキル、経験にとらわれず、やりたいことにチャレンジできる風土や労働環境を整備したことによって社員のモチベーションが高まっている。

<企業概要>

設立年	1998年	資本金	1,359百万円
本社所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬 2-6-1 WGBマリブウエスト 16F		
事業概要	ファッション通販サイト「ZOZOTOWN」等のEC事業		
売上高(※)	31,806百万円 (※)直近決算期(2012年3月)		

<従業員の状況> (単体)

総従業員数	430人(うち非正規12人)
属性ごとの人数等	【女性】195人(うち非正規3人)、女性管理職比率17% 【外国人】4人 【障がい者】10人
正規従業員の平均勤続年数	約4年